

## PSAが高い（前立腺がんの疑い）と言われた方へ

次の検査として、前立腺生検を行って、細胞をとる必要があります。

一般的な前立腺生検は「系統的生検」と呼ばれます。

これは前立腺に対して、一定の間隔で10～12箇所を針を刺す方法です。

ただし針と針の間ががんがあった場合、見逃されてしまうことがあります。

中通総合病院では、2019年から秋田県初となる新しい前立腺生検（先進医療）を行っています  
（秋田県内で当院のみ）。

### 「MRI撮影及び超音波検査融合画像に基づく前立腺針生検法」

「標的生検」とも呼ばれます。

事前にMRI検査を行い、画像を分析し、がんが疑われる場所を3次元画像で作ります。

この画像と超音波検査の画像をパソコン上で融合することで、「がんが疑われる部分」に正確に針を刺すことができます。

メリット

- ・がんの見逃しが減る。

治療の必要ながん発見率が、従来の方法に比べ2倍優れていたと報告されています。

（東海大学 小路先生ら。Int J Urol 24: 288-294, 2017.）

デメリット

- ・医療費がかかる。

通常の入院検査費（3割負担で4万円）に加え、先進医療費11万円がかかる。

（保険の特約によって、先進医療費が戻る事があります。保険会社に確認してください）

検査に興味をもたれた方は、ぜひ中通総合病院 泌尿器科を受診してください。



超音波画像下前立腺生検機器「バイオジェット」



<https://youtu.be/BzFKWQifXwA>

バイオジェットの紹介動画(Youtube、約9分)